

(提出) 2021 年 4 月 7 日

福井県議会  
議長 畑 孝幸殿

(陳情者) 原発問題住民運動福井県連絡会  
事務局長 林 広員 印  
住所 福井市光陽 3-4-18  
福井県民主医療機関連合会内

## 老朽原発の再稼働に関する陳情書

### 1. 陳情の主旨

- (1) 老朽原発である美浜3号機の運転を再開しないよう関西電力社長に申し入れて下さい。
- (2) 美浜3号機の運転再開について合意しないよう杉本達治県知事や県議会、菅総理大臣や衆参両議院に申し入れて下さい。
- (3) 全県民や京都・滋賀など周辺住民を対象とした国主催の説明会を、賛成派と反対派の学者・専門家を招いて開催するよう国に求めることを知事に申し入れて下さい。

### 2. 陳情の理由

- (1) 老朽化した原発は危険度が増し、事故・故障が頻発しています

関西電力は、建設後45年を超えた高浜原発1号機、44年を超えた2号機、43年を超えた美浜原発3号機の老朽化した原子力発電所を動かそうとしています。関西電力の安全対策工事では老朽化した配管や設備・部品の全てが新しくなったわけではありません。特に、原子炉圧力容器などは交換不可能であることを十分考慮し判断することを求めます。また圧力容器の内面は、高い圧力と高温及び、核分裂によって発生する中性子などの高レベルの放射線にさらされ日々損傷しています。圧力容器の鋼鉄は、運転期間が40年以上も長期化すると脆くなります。もし過酷事故が発生し緊急炉心冷却装置が作動して冷却水が注入された場合、脆くなった圧力容器は、脆化温度以下に冷やされると破損する危険があります。

そのうえ、老朽化した原発の蒸気発生器伝熱管とその周辺の配管で損傷・腐食が頻りに発生し事故・故障が頻発しています。高温・高圧の熱水が流れる蒸気発生器の伝熱管が破断すれば、放射性物質を含んだ高温・高圧の1次冷却水が大量に2次系に漏れ出す危険があります。

- (2) コロナ禍の下で住民は安全に避難できません

コロナ禍での原子力防災訓練で判明したことは、感染対策を考慮した場合、バスの定員を半数に減らす必要があるため、必要数の2倍のバスが必要となります。また、感染者や濃厚接触者がいる場合、他の住民と隔離する必要があるため専用の車両を準備する必要があり、さらに必要なバスは増えることになり実際に確保できるのか疑問です。しかも避難場所では、被ばくを防ぐために換気を原則行わずに、3密回避の空間を確保する必要があります。換気できない中で感染力をもつ無症状者が潜在した場合のリスクも懸念されます。コロナ禍の中で原発再稼働は無理があり、住民の安全を守れません。

以上